第６章

みんなで環境保全に取り組むまち

（環境教育・連携）

第１節　　環境教育・環境学習に取り組みます

第２節　　市民・事業者・ＮＰＯ等と連携した取組を推進します

第１節　環境教育・環境学習に取り組みます

●大分市環境展、環境ポスター展

⑴大分市環境展

６月の環境月間中に「大分市環境展」や「環境ポスター展」を開催して、市民一人ひとりの環境保全に関する理解の促進と意識の高揚を図っています。

開催日	2025(R7)年６月７日
場　所	ガレリア竹町ドーム広場
内　容	・大分市環境ポスター展表彰式及び展示 ・エコグッズの展示、作製 ・大分に生息している生物の展示 ・環境科学実験の実演 ・生ごみ処理容器（コンポスト等）の展示 ・汚泥リサイクル肥料の無料配布 ・緑のカーテンの苗やトイレットペーパー(再生紙)等と交換できるスタンプラリーの実施 ・燃料電池自動車の展示 ・ステージイベント　等



環境展の会場全景



燃料電池自動車の展示

⑵大分市環境ポスター展

市内の小中学生と姉妹都市・友好都市等の小中学生から、環境問題をテーマとしたポスターを募集し、応募作品の展示を通じて多くの市民に環境保全の大切さについて啓発を行いました。

開催日	2025(R7)年６月14日～６月26日
場　所	J:COM ホルトホール大分１階 エントランスホール
応募数	265点（武漢市28点、広州市21点を含む）
内　容	応募作品の展示、受賞作品の表彰式



環境ポスターの展示

●環境教育副読本

本市では、環境と市民生活との関わりや身近な環境問題に関する理解を深めるために小学生の環境教育に取り組んでいます。

毎年、小学 4～6 年生向けに、写真やイラスト等を用いて本市の環境保全についてわかりやすく紹介した「環境教育副読本」を、デジタルデータとして市内すべての小学校に配布し、環境教育に活用しています。



環境教育副読本

●環境ブックの読み聞かせ運動

2025（令和 7）年 6 月 1 日～30 日の期間に、子ども自らが環境問題に関心を持ち、学習し、将来にわたって環境問題について考えるきっかけづくりを目的として、市民図書館等に環境関連図書を集めたコーナーを 95 箇所設置しました。

また、市内の幼児、児童、小学生を対象に、74 団体が環境ブックの読み聞かせ運動を 1,457 回実施し、参加者は延べ 39,365 人でした。


環境ブックの読み聞かせ

●エコチャレンジ日誌

2025（令和 7）年 12 月に、「やってみよう！エコチャレンジ！」の取組として小学生、中学生を対象に、自宅における節電、節水などの省エネ行動（エコチャレンジ）の実施及びエコチャレンジ日誌の作成を呼びかけました。

参加者の約 60%から日誌の提出があり、期間中の二酸化炭素の削減量は、全体で約 22ｔでした。

⑴実施期間

◇小学 1～4 年生　　2025（令和 7）年 12 月 3 日

◇小学 5・6 年生、中学生　　2025（令和 7）年 12 月 1 日～12 月 7 日

⑵実施結果

①エコチャレンジ日誌提出率

◇小学 1～4 年生　　61.8%（9,571 人/ 15,495 人）

◇小学 5・6 年生　　51.4%（4,139 人/　8,047 人）

◇中学生　　64.7%（8,186 人/ 12,657 人）

②チャレンジ結果から算定した一週間の二酸化炭素の削減量

◇小学 5・6 年生　　7,567kg

◇中学生　　15,207kg

●エコスクールの整備促進

⑴概要

地球規模の環境問題に対応するため、学校においても、環境負荷の低減や自然との共生を考慮した施設（エコスクール）を整備するとともに、未来を担う子どもたちが環境問題を身近に感じられるよう工夫を凝らすことが重要となっています。

このため、本市の小中学校の施設を改築又は新増築する際は、次の 3 つの事項に留意した施設整備に努めています。

①施設面・・・やさしく造る
- ◇学習空間・生活空間として健康で快適である
- ◇環境への負荷を低減させる

②運営面・・・賢く・永く使う
- ◇耐久性やフレキシビリティに配慮する
- ◇自然エネルギーを有効活用する
- ◇無駄なく、効率よく使う

③教育面・・・学習に資する
- ◇環境教育に活用する

⑵具体的方法

①太陽光発電型
- ◇屋上・屋根等に太陽光発電パネルを設置し、発電した電力を活用する。また、太陽光発電システムの表示パネルの設置により省エネ効果を可視化する。（資料編Ｐ119 資 8-10 参照）

②省エネルギー・省資源型
- ◇省エネ型設備・・・・省エネルギー型の照明器具等の導入を図る。
- ◇雨水利用・・・・・・建物の屋根から集めた雨水を貯水槽に貯め、校庭の散水等への利用を図る。

③自然共生型
- ◇建物緑化・・・・・・屋上の緑化等を行うことで自然との共生を考慮した施設とする。

④木材利用型
- ◇地域材等の利用・・・地域材の利用などにより内外装を木質化することで健康で快適な学習・生活空間の実現を図る。



坂ノ市小学校に設置されている太陽光発電パネル



坂ノ市小学校に設置されている屋上緑化

⑶現在までの整備状況

エコスクールとしての整備を行い、国の「エコスクールパイロット・モデル事業（平成 9～28 年度）」及び「エコスクール・プラス（平成 29 年度～）」の認定校として指定を受けている小中学校及び義務教育学校は表のとおりです。

エコスクールパイロット・モデル事業の認定校一覧

認定年度	学校名	事業内容
2003(H15)	大在西小学校	新築　[2004(H16)年度完成]
2005(H17)	王子中学校	体育館改築　[2005(H17)年度完成]
2006(H18)	上野ヶ丘中学校	校舎改築　[2007(H19)年度完成]
	神崎中学校	校舎改築　[2007(H19)年度完成]
2007(H19)	松岡小学校	校舎増築　[2008(H20)年度完成]
2008(H20)	佐賀関小学校	体育館改築　[2008(H20)年度完成]
	佐賀関中学校	体育館改築　[2008(H20)年度完成]
2009(H21)	大在中学校	校舎増築　[2010(H22)年度完成]
2010(H22)	大道小学校	校舎改築　[2011(H23)年度完成]
	坂ノ市小学校	校舎改築　[2011(H23)年度完成]
	滝尾中学校	校舎増築　[2011(H23)年度完成]
2011(H23)	(旧)荷揚町小学校	体育館改築　[2011(H23)年度完成]
	南大分小学校	校舎･体育館改築　[2012(H24)年度完成]
2012(H24)	春日町小学校	校舎改築　[2013(H25)年度完成]
2013(H25)	鶴崎小学校	校舎改築　[2014(H26)年度完成]
2014(H26)	敷戸小学校はばたき分校	新築　[2014(H26)年度完成]
	植田東中学校はばたき分校	新築　[2014(H26)年度完成]
	大在小学校	校舎改築　[2015(H27)年度完成]
2015(H27)	碩田学園	新築　[2016(H28)年度完成]

エコスクール・プラスの認定校一覧

認定年度	学校名	事業内容
2022(R4)	大在東小学校	新築　[2023(R5)年度完成]

●環境に関する各種の教室・講座

環境や自然に関する教室・講座を各地区公民館やのつはる少年自然の家で開催し、学習や体験活動を通じて身の回りの環境や自然について、理解を深める機会としています。

2025（令和 7）年度は、「自然ウォッチング」や「自然体験学習会」、環境問題やリサイクル等の学習会を 95 回開催しました。このうち、のつはる少年自然の家では、自然に親しみ、人と自然との豊かなふれあいを学ぶことを目的として、松ぼっくりや竹、ラベンダー等、自然の素材を用いた工作活動やファミリーキャンプ、星空観察会等を 9 回開催しました。



ラベンダー摘み取り体験
（のつはる少年自然の家）

●地球温暖化対策出前授業

環境保全に対する子どもたちの意識の高揚を図るために、「地球温暖化対策おおいた市民会議」と共同で「地球温暖化対策出前授業」を開催しています。

2025（令和 7）年度は、小学校 10 校、中学校 1 校において、「地球温暖化対策おおいた市民会議」の委員や本市職員が講師となり、「大分市地球温暖化対策ガイドブック」を使って「温暖化の仕組み」や「市民一人ひとりの取組の大切さ」について講義を行いました。



地球温暖化対策出前授業

●「ごみ減量・リサイクル推進懇談会」などによる啓発活動

市民への啓発活動の一環として、本市職員が講師となり、ごみ減量・リサイクルの推進に関する各種施策の紹介等を行う「ごみ減量・リサイクル推進懇談会」や「まちづくり出張教室」を開催しています。

2025（令和 7）年度は、正しい分別と生ごみの減量・食品ロスの削減を推進するため、参加者に啓発資料を通じて、「４Ｒ運動」や「３きり運動」の実践を呼びかけました。また、紙製水きり袋などの各種啓発物品を参加者へ配布しました。



ごみ減量・リサイクル推進懇談会

ごみ減量･リサイクル推進懇談会	26 回　出席者 763 人
まちづくり出張教室	2 回　出席者 114 人

●大分エコライフプラザでの啓発

本施設では、４Ｒに関する「展示・学習コーナー」や「エコライブラリー」を利用することで環境について学ぶことができるほか、定期的に開催している体験教室などに参加することで気軽に４Ｒに取り組むことができます。

施設の利用状況

利用区分＼年度	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
児童・生徒など	0	0	6	0	0
体験教室	77	79	187	257	330
その他	11,257	10,846	12,815	17,459	17,991
合計	11,334	10,925	13,008	17,716	18,321

●公共交通や自転車の利用促進に向けた取組（モビリティ・マネジメント）

本市では、過度に自動車を利用せず公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態に変化することを促す「モビリティ・マネジメント」の取組の一連として、公共交通や自転車の利用促進に取り組んでいます。

公共交通の利用促進では、バスの乗り方等を学ぶ「エコ交通まちづくり教室」の実施や、バスや鉄道に関するウェブサービスや割引サービスを掲載した「公共交通情報ナビ」による情報発信、サイクルアンドバスライドなどの取組を行っています。

自転車の利用促進では、駐輪場や自転車通行空間など自転車の利用環境の整備を行うとともに、自転車の貸出を行う「レンタサイクル事業」や「シェアサイクル事業」を実施しています。

主な取組の実施状況は次のとおりです。

⑴エコ交通まちづくり教室

市内の小学校を対象に、バスなどの公共交通の利用が二酸化炭素等の温室効果ガス排出の抑制につながることを学ぶ講座とともにバスの乗り方を学ぶ乗車体験を実施し、公共交通を身近に感じてもらうことで日常生活での自発的な利用を促します。

エコ交通まちづくり教室実施状況

年度	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）
実施数（校）	1	4	7	6	6
参加児童数（人）	78	329	423	513	445



エコ交通まちづくり教室

⑵大分市レンタサイクル事業

市民の交通利便性を高めるとともに、中心市街地における自動車交通量の削減、交通機関との連携、放置自転車対策、さらには観光振興に寄与するため、レンタサイクル事業を実施しています。

「大分市レンタサイクル条例」に基づきレンタサイクルポートを大分駅高架下東駐輪場内に設置し、自転車 50 台の貸し出しを行っています。

【大分駅レンタサイクルポート】

場　　所：大分市要町 115 番（大分駅高架下東駐輪場内）
開場時間：午前 7 時 30 分～午後 7 時 30 分（年中無休）
対 象 者：中学生以上の方



レンタサイクルポート

レンタサイクル利用状況

年度	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）
登録者数（人）	1,786	1,730	1,662	1,654	1,531
延貸出台数（台）	10,944	13,603	12,857	15,404	16,625

⑶シェアサイクル普及促進事業（おおいたサイクルシェア）

2018（平成 30）年 10 月から実証実験として「シェアサイクル普及促進事業」を実施しています。これは、市内の各所に設置したポートにおいて、24 時間いつでも電動アシスト自転車の貸出・返却をすることができ、新たな交通手段の普及促進を目指すものです。

これまでの実証実験では、登録者数や利用回数が年々増加し、多くの市民にとって身近な移動手段として定着したことが確認されました。この事業効果を踏まえ、今後は本格実施へと移行します。



シェアサイクルポート
（トヨタカローラ大分 祝祭の広場）

ポート数	90 箇所
自転車台数	310 台

●環境白書の公表

本市では、大分市環境基本条例に基づいて、毎年度「環境白書」を作成し、環境の現状や「大分市環境基本計画」の各種施策の進捗状況などを公表し、市民の環境に関する理解を促進することとしています。「環境白書」は市ホームページ等で閲覧することができます。

第２節　市民･事業者･ＮＰＯ等との連携した取組を推進します

●地球温暖化対策おおいた市民会議

市民、事業者、行政から構成される「地球温暖化対策おおいた市民会議」は、本市の地球温暖化防止の取組の推進母体として、温室効果ガス削減に向けた身近な対策を提起し、様々な市民運動を推進しています。

2025（令和 7）年度は 7 回の会議を開催し、「第 3 期大分市地球温暖化対策実行計画」の進捗を協議したほか、「大分市地球温暖化対策ガイドブック」の改訂、「節電キャンペーン(夏･冬)」、「地球温暖化対策講座」、「地球温暖化対策出前授業」などの活動を展開しました。

●環境保全活動団体のネットワーク事業

本市では環境保全活動団体の登録と、団体のネットワーク化を推進しており、各種団体の活動推進のために、「大分市環境保全活動団体活動支援補助金」を交付しています。

2025（令和 7）年度は 9 団体に補助金を交付しました。

●「大分市人材バンク」の充実

幅広い知識や経験を有するＮＰＯ法人・市民活動団体やボランティアグループ、生涯学習指導者の活動状況を「大分市人材バンク」に集約し、本市のホームページで情報提供を行っています。

●武漢市との環境保全、ごみ減量等に関する国際交流・協力事業

武漢市と大分市は、1979(昭和 54)年以来、友好都市として文化、教育、環境、農業など、幅広い分野で様々な交流を重ね、相互交流を深めながら親密な互恵関係を築いてきました。

環境分野の交流・協力では、2017（平成 29）年 7 月に大気汚染や水質汚濁などの防止を目的とした「環境保全に関する交流覚書」と、家庭から排出されるごみの減量･リサイクルの推進を目的とした「循環型社会の形成に関する交流覚書」をそれぞれ締結しました。

これらの覚書に基づき、両市は、環境課題を共有し環境汚染や廃棄物にかかる法制度や取組事例等の意見交換を行い、その成果をそれぞれの都市の環境保全施策の推進に活用しています。



環境保全に関する交流覚書の締結式
［2017 武漢市環境保護局にて］

●こどもエコクラブ事業

こどもエコクラブは、幼児（3 歳）から高校生まで、誰でも参加できる環境活動のクラブで、2026（令和 8）年 3 月 31 日現在、8 クラブが登録されています。

子ども 1 人以上（メンバー）と活動を支える 1 人以上の大人（サポーター）がいれば、いつでもクラブをつくって「こどもエコクラブ全国事務局」に登録することができます。

登録した各クラブは、地域に適した環境保全活動（自然観察、ごみ拾い、リサイクル等）を通じて、自然を大切に思う心を養い、環境問題解決について自ら考え行動し、地域でその輪を広げています。

また、登録したクラブには、活動に必要なパンフレット等が配布され、賠償責任保険による活動支援などの特典があります。

●大分市環境保全活動功労団体表彰

市民団体による環境保全活動を推進するため、「大分市環境保全活動功労団体表彰制度」に基づき、特に顕著な環境保全活動を行っている団体を表彰しています。

2025（令和 7）年度は、NPO 法人みどりの森プロジェクト、大分市キャンプ協会の 2 団体を表彰しました。



環境保全活動功労団体の表彰